

二〇二五年度 特待生入学試験問題

国 語

注 意

- 1 監督者の「始め」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 試験時間は、板書されている時間割のとおりです。
- 3 問題用紙とは別に、解答用紙が一枚あります。
- 4 監督者の「始め」の合図があつたら、すぐに受験番号と氏名を解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- 5 答えは、必ず解答用紙の決められた欄に書き入れなさい。また、特に指示のあるもののほかは、各問いのうちから最も適切なものをそれぞれ一つ選んで、その数字・記号を解答欄に書き入れなさい。
- 6 試験中に質問があれば、手を挙げて監督者に聞きなさい。
- 7 監督者の「やめ」の合図があつたらすぐやめて、鉛筆をおきなさい。

「一」次の文章を読んで、後の問に答えよ。ただし、字数の指定がある問については句読点や記号も字数に含める。

アメリカで「ボス」といえば、社長という意味であるが、私がここでいう「ボス」は特定のものでなく、ある程度のボスということである。企業でいえば、部課長をイメージしてもらえばいい。少なくともその程度までになる場合は、それなりのアシュギョウをしなければならぬ。

今のような家庭、学校、社会の**ビジョウキョウ**のままでとするならば、一つの提案として、①クラブ活動をもつと教育の場所に採り入れたらよいと思う。これは何もスポーツだけに限らず、いろいろな文化サークルを含めてのクラブ活動である。

なるべく若いうちから、責任ある役割を経験するとともに、責任にはその重たさによって序列があることを体で知ることが大切だ。

「A」で、社会人になってからではもう遅いのである。

これはひとつの例だが、例えば野球部に入るとする。中学生であろうが、高校、大学生であろうが、②まず一年生は球拾いであり、先輩たちの洗濯までやらされることもある。一方、主将に限らず、上級生は上級生で後輩のめんどうをみ、部全体の運営に自主的な責任ある行動をとらねばならない。これを封建的といって批判する人もいるが、見当はずれもいところであろう。封建制とは、すべてがずっと同じ地位に居続ける制度ということだ。この場合は、一年ずつ役割は上がっていくのである。有能選手はスタープレーヤーとしていろいろな面で脚光をあびるとともに各種の責任を負わねばならない。

これはちよつと**cトクシユ**な例かもしれないが、封建的といえば、相撲の世界というのは、閉鎖的な**トクシユ**な世界と考えられている。だが③「ボス教育」という面でいえば、参考になることが多い。

相撲の世界で関取になると、なんとなく風格が出てくる。三役(注1)、横綱になると見事なものだ。それは一般社会の二十歳代の若者には到底見られないものである。取りまきやファンがつく。マスコミは寄つて来る。そのみんなが「横綱らしく」とか「風格を出せ」とかいろいろいうし、期待もする。内部でも付人はつく。あれだけ持ち上げられ、責任も負わされれば自然と風格が出てくるものである。序列にともなう期待と責任の重さが、これほど厳しい世界は他にはあまりない。

十両に上がらず関取にならないと、犬や猫と同然であり、関取ならば付人はつくし、**dタイグウ**もうんとよくなる。こういう相撲社会は、ある面では有効なボス訓練をやっているといえるのである。

クラブ活動は実力だけの世界ではない。下級生から上級生へと上がって行かねばならぬ。それだけかえってそのボス教育としては

徹底しているはずだ。運動競技しか能のない人間はeコマるが、企業の採用者が選手生活者を選ぶのはこの点fテキセツな判断だといえよう。スポーツをやっているものは体力があり、やる気があり、気性がさっぱりしているから採用しやすいとよくいわれるが、それだけで企業が採用しているのだったら④皮相な判断であろう。実は、チームプレイ、集団生活の中でgシユウトクした組織の一員としての個の自覚と、ボス教育で受けた全体を統率して行く指導力が、育まれているからだ。そこまで見て採用している企業こそが立派な判断力を持った企業であり、そういう企業であってはじめて人材を養成して行く能力を持つものだといえよう。

組織が外的危機に直面した時とか、組織内がなくなっただけで、まとまりに欠ける時に、その長たるボスが銷沈(注2)してしまつたら、その組織はますますBして、全く駄目になる。

本当のボスなら、逆に危機に臨めば臨むほど、勇気が湧いてやりがいを感じるはずのものである。そうならない者はボス失格者である。ボスたるものの存在意義は、常時にあるのではなく、⑤非常時にあるといつてhカゴンでないからだ。凡卒(注3)ならただ逆上してしまうだけの非常時における冷静な決断力と統率力にこそ、そのボスのCがあるはずである。

ただただ、事なかれとiアンネイの日々を希求する人物はこの不確実性の時代におけるボスとしては落第であり、そのようなボスを頂いている部下こそjメイワクな話であろう。

戦後教育の世界からは、かつて存在した一般的な「ボス教育」は欠落してしまった。たとえば、かつて小学生は六年生ともなればすべて子供たちのボス群の一員として町内の低学年生の面倒を見、他町(村)の子供たちと喧嘩したり、遊びを指導して行かねばならなかった。だが、戦後そのような子供の群れは親や先生や世論によって消滅させられた。⑥せめてスポーツ選手という声が出て来る所以である。この種のあらゆるボス教育の回復こそ、日本の未来社会でのぶ厚い人材の確保につながる不可欠の道ではなからうか。

(会田雄次『新選 日本人の忘れもの』より)

(注1) 三役……大関・関脇・小結のこと。

(注2) 銷沈……気力が衰えること。

(注3) 凡卒……平凡な兵士。

問1 二重傍線部a～jのカタカナを漢字に改めよ。

問2 傍線部①「クラブ活動をもっと教育の場所に採り入れたらよい」とあるが、クラブ活動をする事でどんなことができるか。

筆者は考えているか。本文中から四十字以上四十五字以内の言葉を探し、その初めと終わりの五字を抜き出して答えよ。

問 3 A にあてはまる語として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 好きこそ物の上手なれ イ 鉄は熱いうちに打て

ウ 案ずるより産むが易し エ 先んずれば人を制す

問 4 傍線部②「まず一年生は……自主的な責任ある行動をとらねばならない」とあるが、こうした活動を通じてどんなことが培われているか、本文中から二つ、それぞれ十字以上十五字以内で抜き出して答えよ。

問 5 傍線部③「『ボス教育』という面では、参考になることが多い」とあるが、相撲の世界を参考にするのなら、「ボス教育」ではどんなことをするべきか。解答欄の「くを自覚させること」に続く形で本文中から十五字で抜き出して答えよ。

問 6 傍線部④「皮相な判断」の意味として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 好ましくない判断 イ 思慮深い判断

ウ ありがちな判断 エ うわべだけを見た判断

問 7 B にあてはまる「混乱してうろたえること」という意味の四字熟語を、次の中から一つ選び、漢字で答えよ。
しくはつく うおうさおう にっしんげっぽ いっしんふらん

問 8 傍線部⑤「非常時」の例として、組織内がどのような時が「非常時」か二種類を、それぞれ本文中から抜き出して答えよ。

問 9 C にあてはまる語として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 真骨頂 イ 試金石 ウ 金字塔 エ 正念場

問 10 傍線部⑥「せめてスポーツ選手という声が出て来る」とあるが、スポーツ選手にはどんなことが期待されているのか、最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 冷静さを捨てて情熱的になること イ ボス教育を受けていること

ウ 危機的ジョウキョウから逃げることに エ 個人プレイを大切にすること

「二」次の文章を読んで、後の問に答えよ。ただし、字数に指定がある問については句読点や記号も字数に含める。

① 科学 a バンノウの時代にあっても、人は大自然に接すると、忘れかけていた①太古の人間本来の姿が現れるものである。山に登り、頂上に立ち、連なる山並みの森や林を見ると、やはり自然のつくりだす美しさや b 深遠さに圧倒されるのである。人間は自然界の形を見ると安らぎを覚える。②これはなぜであろうか。

② 自然がつくりだす形には分岐する形、樹木の枝分かれや川の分岐のように、分岐系の形が多い。樹木や植物は成長するに従い枝を四方に伸ばし、分岐しながらさらに小枝を③網の目のように張りめぐらす。そこに葉をつけ、太陽光を全面に集め、光合成をおこなう。

③ こうした分岐の形が樹木全体の樹形をつくりだす。そして無数の樹木が集まって森や林の景観をつくる。杉やブナの森や林は人の心を和ませる。すべて同じように見える樹形もよく見ると、どれひとつ同じ形はない。背の高さや枝の張り出し具合が微妙に違う形が縦横に並ぶと c 抑揚のあるリズム感が生まれてくる。この自然がつくりだす視覚的なリズムが、人の心を d イヤし、安らぎを与える素となるのだ。

④ これは先に述べたラクトル（注1）であり、複雑系の美学がつくりだす自然美の原点なのである。

⑤ 私たち日本人の祖先は自然美を師にその美しさを e 模倣し、その美しさを自分たちの手で書き記したり、絵を描き記録しようとした。④この日本人の創造の心が自然主義的な美意識を育み、世界に f ホコる日本の美術・工芸品をつくりあげてきた。私たちは日常、自然界のさまざまな形に接し、生命の尊さや内に秘めた自然のエネルギーを感じとる幼児体験をつみ重ねながら、形の美しさを受けとめる感性を培ってきた。このように感性の形成には自然界のつくりだす形の影響が深くかわっていると思われる。

⑥ ⑤日本の文化は根底に自然が在り、自然主義といわれるわけも、よく理解できる。水墨画や山水画（注2）とよばれる東洋画に現れた東洋の自然思想、ことに日本人の自然観は、自然と接しながらも自然は人間と対峙（注3）する関係にあり、つねに自然を征服しようとする人間の強い意志が文化の裏側に脈々と流れている⑥西洋の思想とはまったく正反対である。

⑦ 人間至上主義（注4）の西洋の芸術表現に見る自然の対象は、あくまで、人間を主体とする表現の な存在であり、装飾のモチーフ（注5）としては多用されているものの、決して表現の主體的なモチーフにはなりえなかったのである。

8 日本美術では名もない野草や昆虫や小動物が表現の主役を演じる場合も少なくない。十九世紀中頃、西欧に強烈なジャポニスム（注6）を巻き起こし、印象派絵画に影響を与えたのは、g斬新なhヨハクを活かした構図や斜めのコンポジション（注7）、平面的な描写ばかりでなく、自然の景観を愛しいほどいいねいに描写し、野草や小動物までも、表現の主役としてしまう日本人の自然主義の徹底ぶりであった。⑦西欧の人々は、はじめは驚き、奇異な目で眺めていたものの、ついには彼らに欠けていた精神性を自覚し、やがれ日本人の目指す自然主義的な感性に共感しはじめたのである。世紀末のフランスやベルギーを中心に沸き起こったアール・ヌーヴォー（注8）の装飾美術は、まさしく日本美のエッセンス（注9）の西欧への移植であり、長い歴史をホコる伝統的な西洋美術における⑧突然変異であった。

9 アール・ヌーヴォーを代表する作家、エミール・ガレは日本人留学生、高島北海から日本画の手ほどきを受け、日本美術の表現技法と精神性を学んだ。ガレの代表的な作品では、蜻蛉、松虫、きりぎりす、蛾、蝶などの昆虫や鶴、雀、鯉、鮎、蛙、蟹などの小動物、また水草、蒲公英などの野草、朝顔、藤の花、桜、菖蒲、松、竹、梅、葵などの日本独特のモチーフが好んで採りあげられ、特にガラス工芸品や家具などの木工品を飾った。

10 このように日本美術を眺めてみると、日本人が美とした形や構図は自然界にごく普通に見られる形象から学んだ美学に基づいていることがわかる。そのため文学や演劇の世界ばかりでなく、日本美術にしばしば登場する「見立て」（注10）は、人間がつくりだす造型の中にあるがままの姿を見立てる日本の美術特有の表現性を確立したのである。

11 造園でも雄大な大自然の姿はiオクナイから眺めたとき、きわめて自然に見えるように演出され、人工的に自然を再現させる工夫が随所に見られる。これは同じ自然の形を尊重した、全く手をかけないイギリスの風景式庭園とは正反対の自然観である。日本人は庭の中に人工的に工夫した自然の演出空間をつくりだしたが、イギリス人はj母屋から見える自然を借景（注11）として捉え、手を加えない庭づくりを風景式庭園として尊んだ。

12 こうしてみると日本人は自然と共生することによって、その自然観の中に自己の愉しみを見いだす才能が元来備わっており、これを高次元の芸術にまで高める資質をもちあわせていた民族といえそうだ。

（三井秀樹『形の美とは何か』より）
（注1）フラクタル……自然界にあるような複雑で不規則な図形でも、どの微小部分にも全体と同じ形が現れる自己相似性があり、したがって、部分を次々に拡大すれば全体の形が得られるとする理論。

(注2) 山水画……自然の景色を描いた絵。

(注3) 対峙……向き合って立つこと。

(注4) 人間至上主義……人間が最も優れたものだとする考え方。

(注5) モチーフ……題材。

(注6) ジャポニスム……日本の美術・工芸に対する研究や愛好。

(注7) コンポジション……絵の構図。

(注8) アール・ヌーヴ……十九世紀末にヨーロッパに起こった芸術様式。植物模様や流れるような曲線の特徴とする。

(注9) エッセンス……最も大切な要素。

(注10) 見立て……あるものを、それと似た別のもので示すこと。盆栽は自然の樹木の「見立て」である。

(注11) 借景……庭園の外の山や樹木などの風景を、その庭のもののように利用すること。

問1 二重傍線部 a j のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みを答えよ。

問2 傍線部①「太古の人間本来の姿が現れる」とは、人がどのようになることを言っているか、解答欄の「〜こと。」に続く形で本文中から二十一字で探し、その初めと終わりの四字を抜き出して答えよ。

問3 傍線部②「これはなぜであろうか」とあるが、この疑問の答えにあたる一文を本文中から探し、その初めの五字を抜き出して答えよ。

問4 傍線部③「網の目のように」とは、どんなことのたとえか、最も適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 多量なこと イ 細かいこと ウ 粗雑なこと エ 気ままなこと

問5 傍線部④「この日本人の創造の心」の内容として最も適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 成長するにつれ自然美に対する感性が衰えてくるため、幼少期に育んだ自然観のみを利用する心

イ 人間は自然から支配される立場であることを自覚し、自然に神々を感じながら絵などを残す心

ウ 自然美を師にその美しさを模倣し、その美しさを自分たちの手で書き記したり、絵を描き記録したりしようとする心

エ 自然を人間が支配する対象とみなし、庭園などの造型において、自然を変形したり征服したりしようとする心

問6 傍線部⑤「日本の文化は根底に自然が在り、自然主義といわれるわけも、よく理解できる」とあるが、その理由を述べたつぎの文の空欄にあてはまる言葉を本文中から探し、それぞれ抜き出して答えよ。

日本人は、自然界のさまざまな（①一字）に接して、幼児のころからその美しさを受けとめる（②八字）から

問 7 傍線部⑥「西洋の思想とはまったく正反対である」とあるが、日本と西洋の自然観は、どのような点で正反対なのか次の文の空欄にあてはまる言葉を本文中から探し、それぞれ抜き出して答えよ。

日本では、自然と（①二字）し、自然から（②五字）や自然のエネルギーを感じとろうとするのに対し、西洋では、自然は人間によって（③二字）されるものであると考えている点

問 8 にあてはまる言葉として最も適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 主体的 イ 絶対的 ウ 従属的 エ 相対的

問 9 傍線部⑦「西欧の人々は、はじめは驚き、奇異な目で眺めていた」とるが、西欧の人々が日本美術に対してこのような反応を示したのは、彼らがどんな考え方を持っていたからか、それがわかる言葉を本文中から六字で探し、抜き出して答えよ。

問 10 傍線部⑧「突然変異であった」とあるが、アール・ヌーヴォーの出現が「突然変異」だというのはなぜか、最も適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア アール・ヌーヴォーの装飾美術が、それまでの西洋の伝統的価値観とはかけ離れた、意表をつくものであったから。
イ アール・ヌーヴォーの装飾美術が、それまでの西洋の伝統的価値観から必然的に生まれてくるものだったから。
ウ アール・ヌーヴォーの装飾美術が、それまでの西洋の伝統的価値観を補い、さらに発展させるものだったから。
エ アール・ヌーヴォーの装飾美術が、それまでの西洋の伝統的価値観とあらゆる面で共通点が多かったから。

問 11 9から12段落の役割について述べたものとして最も適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 9段落は、8段落で述べた内容をさらに深く掘り下げて考察し、10段落へとつないでいる。

イ 10段落は、9段落の内容をまとめてから、話題を転換している。

ウ 11段落は、10段落で述べた内容について具体例を示して補足している。

エ 12段落は、11段落で述べた内容に反論しつつ、結論を述べている。

問 12 この文章の内容と合わないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本美術が野草や昆虫や小動物までも表現の主役にしてしまうのは、日本人の徹底した自然主義の表れである。
イ 「見立て」は、ありのままの自然の姿を人工的な造形の中に再現しようとする日本美術特有の表現形式である。
ウ 日本人は、自然に親しみ、そこに自己の愉しみを見いだす才能を発揮して、芸術性の高い作品を生み出している。

エ
イギリスの風景式庭園は、人工的な日本庭園より自然の美を尊重したものであり、より芸術性に富んでいる。

受験番号	
氏名	

合計
※

問10	問9	問8		問7	問6	問5	問4		問3	問2	問1		一
イ	ア	(2)	(1)	右往左往	エ	序 列 に と も な う 期 待 と 責 任 の 重 さ を 自 覚 さ せ る こ と	(2)	(1)	イ	責 任 あ る 役 ゝ で 知 る こ と	f	a	
		だ	外				全	組			適切	修行	
		ら	的				体	織					
		け	危				を	の			g	b	
		て	機				統	一			習得	状況	
		、	に				率	員					
		ま	直				し	と			h	c	
		と	面				て	し			過言	特殊	
		ま	し				行	て			i	d	
		り	た				く	の			安寧	待遇	
		に	時				指	個			j	e	
		欠					導	の			迷惑	困	
		け					力	自					
		る						覚					
		時											

小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計
※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※

一
※

問12	問11	問10	問9	問8	問7	問6	問5	問4	問3	問2	問1		二
エ	ウ	ア	人 間 至 上 主 義	ウ	①	①	ウ	イ	こ	自	f	a	
					共	形			の	然	誇	万能	
					生	②			自	の			
					②	感			然	つ			
					生	性			が	ゝ	g	b	
					命	を				倒	ざんしん	しんえん	
					の	培				さ	h	c	
					尊	っ				れ	余白	よくよう	
					さ	て				る	i	d	
					③	き			こと。		屋内	癒	
					征	た					j	e	
					服						おもや	もほう	

小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計
※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※

二
※

※欄には、受験生は記入しないこと。

2025 年度特待生入試（国語） 出題の意図

評論小説から問題を取り、100 点満点で問題を作成した。設問は記述を織り交ぜている。設問内容は、日頃の学習勉学の成果が図れるよう心がけ、様々な角度から基礎的な学力、基本的な語彙力や読解力、表現力、思考力などを試す問題などをバランスよく織り交ぜた。